



令和7年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【横山地区】

令和8年3月31日現在

No.	団体名	事業等の名称	事業の概要（申請時）			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
			事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1	ALL横山Kizunaプロジェクト 実行委員会	GO,GO!横山まちづくりプロジェクト	横山地区内では、自治会員の減少が続く中、自治会、老人会、子ども会など従来からあった地域コミュニティを担う組織の解散が起き、コミュニケーションの希薄化や担い手不足という現実問題に直面しており、その影響による活気の低迷が懸念されている。 このような状況下において、横山地域ケア会議横山地域づくり部会では、以前から地域の課題としてあがっていた「高齢化に伴う介護予防」「高齢者・障害者への移動支援」「地域の空きスペースの活用」「地域全体を見守り合う仕組みづくり」というテーマの課題解決に向け、令和5年からモデル事業として、地域のネットワーク形成と意識醸成を目的とした「Kizuna/パーキング事業」をはじめとする各種取組を展開している。 この度、モデル事業から本格実施に移行するため、横山地区の福祉に関わる全ての団体に横串を刺し、連携を強固にさせた新たな組織「ALL横山Kizunaプロジェクト実行委員会」を立ち上げ、活動を開始するもの。	・地域の空き駐車場を活用して、医療・福祉従事者の訪問時用の駐車場整備を行い、高齢者や障害がある方・幼児から妊産婦の方々を支える環境づくりを通じて、地域愛を醸成させ、ひいては地域活動の担い手を発掘・育成する。 ・地域内にベンチ・イスがある「ちょっと顔を会わせられる休憩スポット」を整備し、高齢者の外出を促がすとともに、住民同士の交流、見守り、安否確認等の対策に資する。 ・横山地域包括支援センターのホームページを活用して、地域に必要な横山地域の活動状況をWebで発信する。	①「Kizuna/パーキング」の設置:活動趣旨に賛同いただいた集合住宅や自治会、個人の敷地を「Kizuna/パーキング」として提供する。 ②「Kizunaベンチ」の設置:既存のベンチやイスを活用するとともに、新規にベンチ・イスを設置し、買物や通院等に「ちょっと顔を会わせられる場所」を提供し、見守りや災害時の安否確認などに役立つスポットとする。(約20箇所整備) ③活動の情報発信:「Kizuna/パーキング」や「Kizunaベンチ」の看板に横山地域包括支援センターのホームページ二次元コードを貼付し、当該事業の紹介や地域住民の活動を発信する。パンフレットや、地域情報誌(ALL横山地域づくり部会かわら版含む)等にて周知し、横山の各地域活動団体と連携、協働して取り組む。	R7.10.1	590,960	590,000	590,000
2	横山児童見守り推進プロジェクト 実行委員会	よこやま元気に登校！安全登校！プロジェクト	・小学校とPTAによる登下校時の見守り体制について人的な整備が進んだが、登下校時のより安全な体制づくりのための日常的な認識(特に危険箇所)を促すツールが整備されておらず、対応が求められている。 ・現在設置されている、登校班の集合場所看板は、昭和の頃に設置された古い看板で老朽化はもとより、解散により現存しなくなった子ども会の看板が掲出されているほか、防犯上の観点から固定位置に設置することの是非など、内容・運用のアップデートが求められている。 ・また、その運用の土台として重要な要素となる「げんきなあいさつ」は、地域内のコミュニケーションを維持・向上させる上で欠かせない言動(振る舞い)であり、次代を担う子どもたちにその大切さをあらためて伝えていくことが求められている。	・子どもたちの元気な登下校に合わせて自衛意識向上を促す(特に、危険箇所通過時など) ・学校PTA(保護者)見守りサポート従事者においても、注意意識向上を促す体制を整える。 ・地域の明るい元気なコミュニケーションの向上により交通安全・防犯力の強化につなげる	・登下校時の要所(危険箇所、登校班集合場所、こども110番の家など)に、子どもたちの安全な登下校にかかる注意喚起と元気なあいさつによる地域住民とのコミュニケーションを向上させることを主眼とした掲示板を設置する。 掲示内容:小学生の書いた絵を土台に、「飛び出し注意」「交通ルールを守ろう」「元気なあいさつ」などを表記 ・掲示板の内容について、チラシ等で地区内外に周知を行う。 ・学校、PTA、見守りサポート従事者などを対象とした勉強会(講習会)実施する。	R7.10.21	400,000	400,000	400,000
							990,960	990,000	990,000